

R7年度取組み ～R5年度 厚労省委託事業「連携型BCP・地域BCP策定に関するモデル地域事業」の取組を継続～

R6年度に人工呼吸器使用者の個別避難計画をモデル作成し、そこから見えた課題（個別避難計画作成、人工呼吸器使用者の避難所受け入れ体制の整備等）について進捗状況の確認を行い、対応策を検討した。

第6回 地域BCP策定に向けたワーキンググループ

○日 時：令和8年2月25日（水）19時～20時40分

○内 容：個別避難計画や避難場所等の進捗状況の報告及び意見交換

○構成団体：柏市医師会、柏市訪問看護ステーション連絡会、柏市介護支援専門員協議会
柏市介護サービス事業者協議会、柏市老人福祉施設協議会（災害担当）
地域生活支援拠点、柏市社会福祉協議会

〈行政〉防災安全課、福祉政策課、障害福祉課、指導監査課、キッズルーム、地域医療推進課（事務局）

【概要】

●人工呼吸器使用者の個別避難計画（福祉政策課）；令和8年1月に6事業所の訪問看護ステーションと作成委託契約を締結し、計画の作成を開始。作成した計画の活用方法や、内容の再確認のタイミングが課題となった。

●福祉避難所の整備の進捗状況（福祉政策課）；柏市は協定福祉避難所はあるが指定福祉避難所の設置に至っておらず、近隣市も同様であった。こどもを対象とした指定福祉避難所の設置自治体があることを把握した。

●福祉施設情報共有システム（指導監査課）；災害時における介護施設・事業所の被害状況を国・自治体が迅速に把握・共有し、適切な支援に繋げるためのシステム。全事業所からの報告率は数%と低く、施設種別毎の報告がどの程度かが未把握であることが課題。被災状況の的確な把握のためにシステムの周知や報告訓練が必要。

●人工呼吸器使用者の避難場所（地域医療推進課）；ウェルネス柏内の個室利用が可能となる場所へ変更した点を共有。発災時に必要な福祉用具を借りられらるよう災害時福祉用具等供給協定締結について共有。

●非常用電源の申請状況、年代別人工呼吸器使用者数（障害福祉課）；令和8年1月現在で12名が申請。人工呼吸器使用者60名のうち、18歳未満が54%であり医療的ケア児が多い。

【令和8年度ワーキングの予定】

回数：2回

内容（案）：進捗状況の共有、小児の個別避難計画、障害児（者）施設の情報の集約について 等

その他：ワーキングメンバーを再編成する。